

氏名 <small>(法人にあっては名称)</small>	イオンリテール株式会社中四国カンパニー
住所	広島県広島市南区段原南1丁目3-52
計画期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
基準年度(*1)	令和3年度

1 事業者の要件 ((1)、(2)については、特定年度(*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量)

該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> (1)原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上 (特定事業者) <input type="checkbox"/> (2)エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上 (特定事業者) <input type="checkbox"/> (3)特定事業者以外の事業者
------------	---

2 事業の概要

事業者の業種	百貨店・総合スーパー (主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号：5611)
事業概要	イオンリテール株式会社中四国カンパニー (中国5県、四国4県にて総合小売業(モール、GMS、SM等を展開))

3 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4～令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4～令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*5)	5,907 t-CO ₂	5,553 t-CO ₂	5,013 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		6.0 %	15.1 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*6)		5,553 t-CO ₂	5,013 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		6.0 %	15.1 %	%	%	%
実績に対する自己評価	全社挙げて電気使用量昨対96%目標に取り組んだ成果と照明のLED化、冷ケースの省エネタイプへの入替推進による効果により目標以上の成果が上がる。					

*1 基準年度とは、温室効果ガスの抑制割合を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去3か年度の平均値とすることができる。

*2 特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。

*3 原油換算エネルギー使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。

*4 温室効果ガス排出量とは、二酸化炭素(エネルギー起源のもの及び非エネルギー起源のもの)、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン及び六ふっ化硫黄)の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものをいう。

*5 温室効果ガス実排出量とは、上記(*4)のうちエネルギー起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ガス排出量が特定事業者単位で3,000トン以上のものの排出量の合算をいう。

*6 温室効果ガスみなし排出量とは、上記(*5)に対して環境価値(*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ガスみなし排出量は、温室効果ガス実排出量と等しくなる。

(2) 事業分類ごとの原単位(*7)の抑制に関する目標の達成状況 (※任意記載)

(※原単位の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$)

事業分類	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
イオン宇品店	2144	2015	1841			
		6.0 %	14.1 %	%	%	%
イオン広島祇園店	2792	2625	2751			
		6.0 %	1.5 %	%	%	%
イオンみゆき店	971	913	881			
		6.0 %	9.3 %	%	%	%
原単位の指標及び実績に対する自己評価	・原単位の指標：t-CO ₂ ・宇品店とみゆき店は、全社目標の電気使用量昨対96.0%運営の徹底と宇品LED化投資、みゆき店空調省エネタイプへ変更で成果上がる。広島祇園店は、売場改装により冷凍食品コーナー拡大に伴う冷ケース数増加をカバー出来なかった。					

(3) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

1、電気使用量昨対96%運営の徹底。
 (1)空調作動開始時間及び停止時間の見直しによる短縮。
 (2)冷ケースの温度設定の商品毎の見直し。
 (3)不要箇所の照明の消灯、照明点灯時間の見直し、店内・後方ともに、照度の見直し。
 (4)省エネチェックリストによる従業員教育の徹底と実施。
 2、省エネ投資の推進。
 (1)売場・後方ともLED化の推進。
 (2)古いLED照明を省エネタイプLEDへの入替。
 (3)冷凍・冷蔵ケースの省エネタイプへの入替推進。
 (4)空調の省エネタイプへの切り替え。

(4) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値(*8)の活用等)

2023年度、温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置は、実施されていません。

4 その他の取組の実施状況

1、2030年までに使い捨てプラスチック使用量の半減を目指し、2021年よりプラスチックストロー、スプーン、ホークなどの紙製に変更、食品買物袋有料配布中止。
 2、食品廃棄物を2025年までに2015年比半減へ向けAIによる発注・見切りを実施。
 3、ペットボトルの店頭回収昨対102%増加を目標に、PB商品のペットボトル100%再生又は植物由来への転換めざして丸紅と協業で資源循環モデル構築を図っている。
 4、「イオンの森づくり」を全国38か所へ拡大し取組みCO₂削減に貢献する。

*7 原単位とは、温室効果ガス排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいう。

*8 環境価値とは、オフセットクレジット制度等により、温室効果ガスの排出削減等を行うプロジェクトを通じて生成される温室効果ガスの削減量等をいう。なお、温室効果ガスみなし排出量(*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	イオン宇品店
事業所の所在地	広島県広島市南区宇品東6-1-5
事業所の業種	百貨店・総合スーパー
事業の概要	総合スーパー（食品・住生活・衣料品他）

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下限は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	2,144 t-CO ₂	2,015 t-CO ₂	1,454 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		6.0 %	32.2 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		2,015 t-CO ₂	1,454 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		6.0 %	32.2 %	%	%	%
実績に対する自己評価	電気使用量昨対96%運営の推進と、改装に伴う、LED化と空調機器の省エネタイプへの入れ替えにより目標を大幅に上回る成果上がる。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

電気使用量昨対96%削減の取り組み、省エネ対応ともに前向きに取り組み成果上がる。
--

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値の活用等）

現状、実施しておりません。

2 その他の取組の実施状況

全社の取り組みに準ずる。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	イオンみゆき店
事業所の所在地	広島県広島市南区宇品御幸1-9-12
事業所の業種	百貨店・総合スーパー
事業の概要	総合スーパー（食品・住生活・衣料品他）

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	971 t-CO ₂	913 t-CO ₂	863 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		6.0 %	11.1 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		913 t-CO ₂	863 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		6.0 %	11.1 %	%	%	%
実績に対する自己評価	電気使用量昨対96%運営の推進と、改装に伴う、LED化と空調機器の省エネタイプへの入れ替えにより目標を大幅に上回る成果上がる。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

電気使用量昨対96%削減の取り組み、省エネ対応ともに前向きに取り組み成果上がる。
--

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値の活用等）

現状、実施しておりません。

2 その他の取組の実施状況

全社の取り組みに準ずる。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	イオン広島祇園店
事業所の所在地	広島県広島市安佐南区祇園3丁目2-1
事業所の業種	百貨店・総合スーパー
事業の概要	総合スーパー（食品・住生活・衣料品他）

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	2,792 t-CO ₂	2,625 t-CO ₂	2,696 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		6.0 %	3.4 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		2,625 t-CO ₂	2,696 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		6.0 %	3.4 %	%	%	%
実績に対する自己評価	電気使用量削減と省エネ対策は実施するが、改装に伴う冷ケース数量増加分が大きく3.4%の削減にとどまる。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

<p>温室効果ガス実排出量抑制に対する、省エネ機材への切り替えや、省エネ運営に対する取り組みは全て実施しているが、食品の冷凍食品コーナー拡大に伴う冷凍ケース20台余りの増加分は、カバー出来ず。</p>
--

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値の活用等）

<p>現状、実施しておりません。</p>

2 その他の取組の実施状況

<p>1、2030年までに使い捨てプラスチック使用量半減（プラステック資材の紙化、食品レジ袋の有料配布の禁止等）。</p> <p>2、食品廃棄物2025年までに2015年度比半減へ向けAI等利用の発注・販売予測の制度向上。</p> <p>3、ペットボトル店頭回収量昨対103%等強化して、PBペットボトルの100%再利用を目指す。</p> <p>4、「イオンの森づくり」の推進において松江「島根県海浜公園」で実施。</p>
